

Hello!NEW 新居浜 FM78.0
令和元年度 放送番組審議会 議事概要

実施日時：令和元年 11 月 6 日（水）11:30～13:30

会 場：新居浜テレコムプラザ 3F

出席者：

（委員）※五十音順

- ・織田 安文 委員（新居浜市観光協会 専務理事）
- ・鴻上 智保子 委員（NPO 法人さしあげプロジェクト 理事）
- ・曾根 啓夫 委員（全日本宣伝放送 代表取締役社長）
- ・辻本 雄紀 委員（西条市役所 経営戦略部 シティプロモーション推進係長）
- ・松平 幸人 委員（新居浜市役所 秘書広報課副課長）

（放送事業者側）

- ・代表取締役社長 大橋弘明
- ・代表取締役専務 伊藤直人
- ・制作局 局長 井上和志

■開会あいさつ 株式会社ハートネットワーク
代表取締役社長 大橋 弘明

年に 1 回の機会。色んなご意見をいただき、番組作りの参考にさせていただきたい。
これまで、地域の活動を地域の人に見てもらおうということを中心にやってきたが、5 年前に各地方のケーブルテレビが全国に自分たちのコンテンツを発信できる枠組み「ケーブル 4K」が開始したことで、自分たちの地域を知らない人に対する番組作りが必要になってきた。地域の人に向けた放送もちろん大事だが、全国の方がこの街に来たいと思うコンテンツ作りを目指したい。
やっていることをただ流すだけなら、一般の人がスマホでもできる。しかも 4K で撮影していることもある。我々としてはもっと高みを目指し、例え番組数が少なくなってもその分、質をあげていきたい。
今や地域の人が欲している情報を流せる唯一のメディアがケーブルテレビやコミュニティ FM である。

■FM ラジオ放送番組放送紹介 代表取締役専務 伊藤直人

開局してもうすぐ2年。現在は弊社スタッフや市民の皆さまにご協力いただきながらやってきている。

今後は、テレビ・ラジオの連携し、更に媒体としての価値を高めていきたい。

現在もお昼の生放送時にはケーブルテレビで放送しているのと、11月からは、テレビと連動した企画ということで、”愛媛県住みます芸人”の「ひめころん」さんにラジオ生番組を担当いただいている。その中で、テレビの色々な企画をリスナーの方等から集め、テレビ番組として実現させていくというもの。

16時～17時半まではラジオ。17時30分からはテレビでひめころんさんの番組が流れるといった編成にする予定。

市民の方がパーソナリティー等で参加していただいているが、参加できない方もいるので、市民の方が番組作りに参加できるような企画。

<イベント会場生中継>

- ・どんぶり選手権
- ・大物産展
- ・夏の高校野球（ケーブルテレビの音声を流す形で対応）

どうしても映像ありきで実況・解説しているため、ラジオだけで聞いた場合に分かりにくい部分があったということが反省点。ラジオ単独でも放送できるよう働きかけたい。

<番組について>

総番組数…22番組、53.5時間/週

<生放送番組について>

(平日)

- ・新居浜朝録れラジオ（8時～8時55分）
- ・Hello!NEW新居浜LIVE（12時～12時55分、16時～17時30分）

(土曜)

- ・あかがね放送局（15時～15時30分）
- ・Non Nom.のナニコレ発見（16時30分～17時）

(日曜)

- ・Hello!NEW新居浜ワイドNEW WAVE（10時～12時）

○Hello!NEW新居浜LIVE16時台について

市民パーソナリティーが中心

第2第4火曜 高見知佳さん（11月～）

毎週金曜 ひめころんさん (11月～)

○Hello!NEW 新居浜ワイド NEW WAVE について
弊社スタッフ+市民ボランティアで制作

<収録番組について>

計 17 番組。

市民の方主導の番組をどんどん増やしていきたい。

<市民ボランティアについて>

現在 15 名。

パーソナリティーやオペレーター (ディレクター) として関わっている。オペレーターの数はまだ少ないので、募集もしていきたい。

<防災ラジオについて>

新居浜市様の補助金を受けて 3,000 円で販売している。設置台数は約 2500 台。

Jアラートの訓練もあったが、有事の際には自動的に放送が行われることになっているので、大雨で外の防災行政無線が聞こえにくいときもラジオから聞くことができる。関東の台風で長時間の停電もあったが、乾電池だけでも動くラジオは有効。普段からラジオを所有・または聞いていただくことが防災に繋がると考えている。

西条市の方からも防災ラジオを購入したいと問合せがあり実際に販売した。興味を持ってもらえていると考えている。

<各委員からの意見>

- ・さしあげプロジェクトで登り道商店街のスピーカーの管理も行っているのですが、事務所が空いているときは商店街のスピーカーで FM を流している。それが結構聞いてくださっている人もいて、反応を直接いただくので嬉しく思っている。
- ・聴取率はわからないのか。
- ・高校の放送部等に声をかけたらおもしろいのでは。
- ・移動中や市役所で流れている時等はラジオを聞くが、自宅では基本的にはテレビ中心。個人的に防災ラジオを買っているが、自治会のスピーカーから流れるゴミの収集等の放送が反響して聞こえづらいので、こういう情報をラジオから流せないか。
- ・週末のイベントもたくさん PR して下さっていてありがたいが、市外・県外の方にも来ていただきたいけるような番組にも力を入れていただきたい。
- ・新居浜警察署の DJ ポリスのようなものを行政でもやりたいと考えていたが、単発的に

はあるが定期的にはなかなか手が回っていない部分もあるので再度進めていきたい。

- ・市民ボランティアの方がたくさん参加されていて驚いた。市民目線の情報発信は、参加している側も聞く側にとっても良い事。
- ・防災ラジオが 2,500 台ということだったが、これは市としては予定より多い方なのか？月に 1 回高齢者が集まるイベントをしていて、ラジオをやるという話をしたらみんな飛びついて、申込しても待ちが出ていると聞いた。
高齢者の方も直接話をしたらみんな買いたいと思ってくれるし、ラジオを持つのは若い人よりもほとんど高齢者だと思う。
- ・端末はワイド FM 対応か

<放送事業者側の回答>

- ・聴取率はなかなか難しいが、イベント毎にアンケートを取っている。対象は狭まってしまうがそういうやり方をしている。
後は防災ラジオをもう少し広めたい。1 万台程度になればもっと聞いていただけるかなと思っている。
その他、公共の場で流していただくようにしたり、新居浜市役所ではお昼の 15 分間は庁内で流れているのでそういう場を増やしたい。
- ・高校の放送部に関してはこれまでも何度かイベントに参加してもらった。新居浜西高は全国的にも制作能力が高いので、そういう番組を流したり連携したい。
収録番組等できることで提案していきたい。
- ・ゴミの情報等は地区ごとに放送内容が違うため、防災ラジオでは対応できないと思う。
Jアラートのような市内一斉に流す情報のみになる。
市内一斉の情報であれば現在も行政から FAX 等いただいて放送している。
- ・市外への PR については、インターネットラジオでも同時に配信しているので、その辺りを使ってうまく PR したい。
- ・防災ラジオについては、予算としては少し余り気味。今年が少ない。
- ・建物の中では受信しないということがあるので、購入前に受信確認をして問題なければ購入ということになるため配布に時間がかかっている要因。
- ・防災ラジオは専用機になるので、仕入れる段階でワイドの周波数を入れて固定で販売している。

<AI アナウンサーについて>

10 月から試験的に行っているが、AI アナウンサーについての意見を聞きたい。

<各委員からの意見>

- AI に変わったタイミングは、少し違和感を感じたが、聞きなれてきたらそういうものなのかなとも思って聞いている。

<放送事業者側からの回答>

- 和歌山のコミュニティ FM の方が最初に考えたものだが、災害時にスタジオまで行けないという問題を、PC さえあれば解決できる。
アドリブは効かないが、原稿があるものを読むだけなら十分対応できる。
多少聞き取りにくいだが、機械音声もだいぶよくなっている。
AI なのでちょっとずつうまくなる。

以 上